

© Beate Frenzel, Gülşah Mavruk (2018)

新規移民生徒との初回対話用話し合いのためのガイドライン

アンケートフォームに関する説明

(Japanisch – Übersetzung durch externen Anbieter)

このアンケートフォームは新規移民の子供たちや少年少女と受入れのための面接を行う際に先生方のための同僚間での交流を念頭に置いた話し合いのガイドラインと基本的情報として作成しました。

受入れ面接の際にこのアンケートフォームは初期導入のための説明ないし学習グループへの割り当てのみを対象としており、必ずしも学校組織関連の質問全てに直ちに回答を提供するものではありません。この制約は特に家族、難民としての出国、滞留資格といったようなテーマ分野に関わっており、外傷的ショックを受けたことがある生徒たちの場合はこれらの点に関してより深く取り上げると過去のいやなことを思い出すきっかけになるおそれがあります。また、奨学金対象の授業時間及び教育・社会参加 BuT 措置の申請関連の金銭的問題も先生と生徒、両親、後見人や世話人さらに学校のソーシャルワーカーの間に信頼関係が確立してから取り上げるようにしてください。

アンケートフォームの個別の調査事項は年齢と（将来的）生徒の言語能力に対応して選択し調整する必要があります。必ずしもどの質問も各児童や少年少女ごとに適合しているとは限りません。その質問をするかは（受け入れ担当）先生の裁量に掛かっています。

アンケートフォームはリソースの配分に関する中心的考え方の概要を表しています。これに対応して生徒の持つすべての言語的リソースを文書化してください。セクション III（出身国における言語習慣）では分野別の言語使用を把握するものとします。その際全てのコミュニケーション能力（会話、読解、作文、ヒアリング）に配慮してください。

アンケートフォームを補完するものとして新規入国した子供や少年少女の多彩な母語に基づく学校及び職業上のこれまでの経験、興味、特技について質問します。これで当面の言語知識の水準だけでなく対象者のやる気と潜在的な能力をも対象にした学習グループ割当が可能になります。

出身国で取得済みの場合がある学業証明書はケルン教区統制局で中学校までの修了に関して可能な資格承認に関して査定することは可能です。

http://www.bezreg-koeln.nrw.de/brk_internet/leistungen/abteilung04/48/anerkennung/auslaendische_schulzeugnisse/index.html

大学入学資格の承認に関してはデュッセルドルフ教区統制局の管轄となります。

http://www.brd.nrw.de/schule/schulrecht_schulverwaltung/Zeugnisanerkennung.html

新規移民の生徒を対象にした授業用の教材や補助資料を載せたコメント入り文献リストは ProDaZ のウェブサイト <https://www.uni-due.de/prodaz/> をご参照ください。